

みんなの広場



▲革芸などの手作りの愛らしい作品を展示。余り布を使った
せうり作りも大演された「ハンドクラフトJoy(ジョイ)展示会」
5月16日(水)／井筒屋町造商店



▲所沢の「旬の話題」にスポットをあてた「ところざわ旬の市」。特設ステ
ージでは、力強く華麗なよさこい鳴子踊りなどが披露されました。
5月26日(土)・27日(日)／所沢駅西口西武鉄道車両工場跡地
(撮影／市民カメラマン・津田資雄)



▲「健康体操推進事業」のオープニングセレモニーを開催。指
導者による「健康体操」を披露しました。参加した皆さんは心
地よい汗を流していました。5月26日(土)／市民体育館

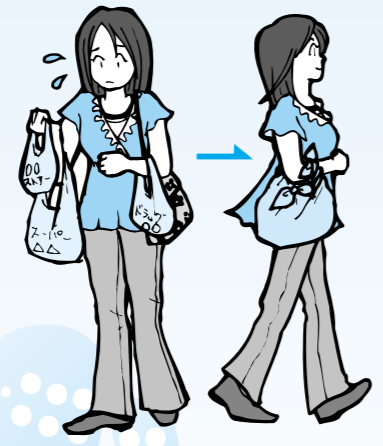


▲小学生から年配の方まで124人の参加者がスコアを競い、
熱い戦いを繰り広げた「市民ボウリング大会」
6月3日(日)／市内ボウリング場
(撮影／市民カメラマン・松崎 満)

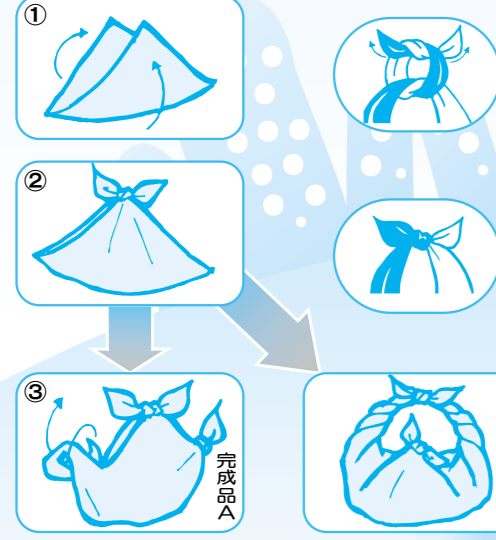
みんなの ギャラリー

試して 楽エコ!!

～わたし流のエコバッグ～
外出先での買い物。気がついたら両手にスーパーやデパートの袋がいっぱい……なんていうことはありませんか。いつものバッグにふるしきを1枚入れておくだけで、スマートなインスタントエコバッグに大変身。



インスタントエコバッグの作り方



◆インスタントエコバッグの包み方A
①三角に折る
②頂点を真結び(かた結び)する
③左右の端をそれぞれひとつ結びする

◆インスタントエコバッグの包み方B
①、②まではAと同じ
③左右の端をそれぞれねじり、先を真結び(かた結び)する

問い合わせ リサイクルふれあい館・エコロ (☎2994-5374・FAX2994-1118)

皆さんからの投稿をお待ちしています!
▶「みんなの広場」では、エッセイおよび市内で撮影した写真やイラストなどを募集▶写真には撮影日・場所・コメント(約60字)を明記▶エッセイはテーマにそって300字以内▶次のテーマは『お盆』▶文章は添削あり▶締め切りは7月6日(金)必着▶掲載者には記念品を進呈
◎いずれも住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ〒359-8501・並木1-1-1 所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係へ郵送またはEメール(アドレスshiroba@city.tokorozawa.saitama.jp)でご応募ください。

はつらつ 野老っ子

ワルツなどのリズムにあわせて華麗に踊る社交ダンス。『映画の中の1シーンのように軽快に踊れたら…』と思われる皆さんも多いのではないのでしょうか。今回は、競技ダンスの世界でA級ライセンスをお持ちの増澤さんご夫妻をご紹介します。
ダンスにもいろいろな種類がありますが、競技ダンスは、ワルツ、タンゴ、クイックステップなどの5種目を競い、大会では、身体能力・音感などの高いレベルが求められます。
お二人は、昨年12月に中国の上海で開催されたIDSF(国際ダンススポーツ連盟)「グランドスラム・in上海」の世界大会で、プロ部門で9位に入賞。国内外の大会でも優秀な成績を残しています。厳しい練習を積み重ねているご夫妻ですが、「本番では、緊張と演技への集中で、呼吸が止まるのではないかとさうほどでした」と大会でのようすを振り返ります。
競技ダンスの頂点を目指すお二人ですが、社交ダンス教室を開き、熱心にお弟子さんの指導にも当たっています。お弟子さんの技術が向上していく姿にうれしさを感じますが、『先生!ダンスを習い始めてとても健康になりました』と声をかけられると、教室を開いて本当によかったと思うそうです。
「男女がペアで踊る社交ダンスは、パートナーシップであるとか、相手を思いやる気持ちが大切です。二人の気持ちが一つになり、音楽と一体になったときに華麗な演技が生まれます」とその魅力を熱く語ってくれました。
社交ダンスは、年齢などに関係なくどなたでも始めることができるそうです。息子さん(小学校1年生)も社交ダンスのレッスンを始めたとか。「小学校などへ出向き、子どもたちにも競技ダンスの世界を見せてあげたい」と地域に密着した活動も考えている増澤さんご夫妻です。
「世界には、若くて才能のあるペアがたくさんいます。練習を積んでもっと踊りがうまくなりたい」と口をそろえるお二人は、正にベストパートナーですね。



社交ダンスの世界に魅せられて 増澤 克宣さん 久美子さん (上安松在住)

始めてとても健康になりました』と声をかけられると、教室を開いて本当によかったと思うそうです。
「男女がペアで踊る社交ダンスは、パートナーシップであるとか、相手を思いやる気持ちが大切です。二人の気持ちが一つになり、音楽と一体になったときに華麗な演技が生まれます」とその魅力を熱く語ってくれました。
社交ダンスは、年齢などに関係なくどなたでも始めることができるそうです。息子さん(小学校1年生)も社交ダンスのレッスンを始めたとか。「小学校などへ出向き、子どもたちにも競技ダンスの世界を見せてあげたい」と地域に密着した活動も考えている増澤さんご夫妻です。
「世界には、若くて才能のあるペアがたくさんいます。練習を積んでもっと踊りがうまくなりたい」と口をそろえるお二人は、正にベストパートナーですね。



歴史再発見 ところざわの文化財

武蔵野の開拓農家～小野家住宅～

小野家住宅(林2-426)は、江戸時代に行われた武蔵野の開拓農家の面影を残す代表例として国の重要文化財に指定されている民家です。小野家住宅の所在地は、かつては武州入間郡林村と呼ばれていました。
江戸時代の地誌『新編武蔵風土記稿』によると、村内に樹木が多くあったのでその名前がついたといわれています。林村は17世紀後半から18世紀にかけて開発が進みましたが、小野家には延宝5年(1677)以降の墓と位牌があることから、同家の祖先もこの地の開発に当たり、このころから住み始めたと考えられています。
建物の建築年代は定かではありませんが、構造や建て方などから18世紀の初頭の建築物と推定されています。間口6間・奥行3間の茅葺き屋根の入母屋造りで、軒がとて低く、材料も自然の曲がったままの雑木を柱や梁などに使っていることが特徴です。雨露をしのげれば十分という、入植時の心構えが伝わってくるようです。内部は間口の3分の1ほどが土間、残りの3分の2が座敷となっています。床上の座敷部分は8畳の畳敷きと4畳と13畳の板敷きからなります。広間3間取り形式と呼ばれる当時の典型的な民家の間取りとなっています。
また、建物だけでなく、庭や屋敷林も武蔵野の農家の面影を伝える貴重な景観となっており、建物の西側にある桜の大木は、春になると見事な花を咲かせ、人々の目を楽しませてくれます。(*1間は、約1.82m)



小野家住宅公開日：毎週日曜日／午前9時～午後4時(年末年始を除く)

花山椒のさわやか

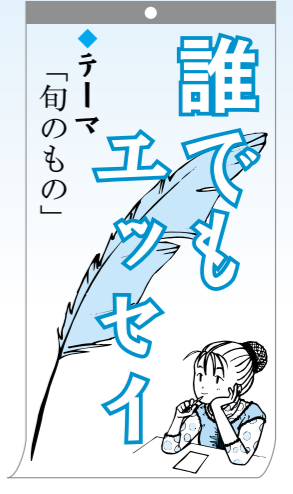
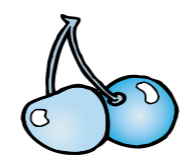
東所沢・内田 朝代

「なんといっても花山椒のさわやか」
5月の連休前後になると、実山椒よりやや華やいた黄色い花を枝いっぺいに付ける。郷里の滋養では、このころになると仲間人が買いつけに来る。京都の料亭では欠かせぬ一品なのだ。
咲き始めたばかりの花だけで作るつくだ煮は、舌がしびれず、まろやかな風味でまさにこの時期ならではの旬の味覚。
しかし、関東では、知らない人も多く、花山椒の木もあまりみかけない。
私は今でも春に帰省すると、とげだらけの枝からせっせと花を摘む。つくだ煮にするかわずかな量だが、主人もこれを持ち帰るのを楽しみにしている。

垣根越しのさわやか

小手指町・長沼 典子

数年前に植えた2本のさくらんぼの木に今年は葉がまじり茂り、たくさん実が目に映り、赤みを増してきた。
今日、植木屋さんが入り、気づくとその葉をハサリりと落とされていく。顔をこわはせる私に、「ご主人に頼まれて……と恐縮する。
確かに垣根越しに隣地へとはみ出す一部の葉を夫とともに気にかけてきた。しかし田舎生まれの私は、春夏秋冬と旬を迎える木や草の実を口にしながら遊び育って来たので、さくらんぼの実を見るとワクワクする。
「このか熟すまで待つてくだいな」心の中でお願ひしてきたのだ。
優しい植木屋さんが、あとから10粒ほどのさくらんぼの実を渡してくれた。
口を噛むと、山形産に劣らず、わが家の『佐藤錦』は、とても甘い。そしてほのかな酸味が漂った。



大好きな地場野菜

山口・寺林 裕子

私が利用している近くのスーパーには、地場産コーナーがある。野菜・タマゴ、時には花束もある。
それそれに「私が作りました」と生産者の名があり、安心だ。野菜は昨日まで畑で大地の恵みをたっぷり吸い込んでいた新鮮なもの。卵だけのことは、朝採り表示だ。
ある日、愛犬のチワワと散歩をしていたら、広い畑で野菜を収穫しているおじさんがいた。その顔は、スーパーにあった生産者の写真にそっくりだったので、思わず「〇〇さんですよネッ」と声をかけてしまった。
びっくり顔のおじさんに事情を説明し、大ファンだとも購入していると告げると、日焼けした顔がほころんだ。
恵み豊かなこの所沢に生活していることに、幸せを感じている。